

第 16 回災害廃棄物対策中国ブロック協議会 議事録

日 時：令和 3 年 8 月 2 日（月）13 時 00 分～15 時 00 分

場 所：オンライン開催

議 事：

（１）令和 3 年度協議会の運営について

① 協議会設置規定について

② 協議会及び幹事会について

（２）令和 3 年度の協議会調査検討方針

報告事項：

環境省からの報告

1 開会

環境省中国四国地方環境事務所 上田所長より開会の挨拶が行われた。

2 あいさつ

（環境省 中国四国地方環境事務所 上田所長）

昨年度に引き続き自衛隊からもオブザーバーとして参加いただいている。大規模災害に備えて、自衛隊との顔の見える関係性を平時から構築しておくことが重要であると考えている。

今年 7 月 1 日梅雨前線の停滞により大雨がもたらされ、熱海市で甚大な被害が生じた。中国管内でも島根県、広島県など各地で降水量の記録をまたしても更新し、大きな被害がもたらされた。この場を借りて被災された方々に心よりお見舞い申し上げる。

今回の大雨は、中国管内では広域支援が必要なレベルには至らず、災害廃棄物処理についても被災自治体において主体的に取り組んでいただいているところである。処理に携わる関係者の皆様のご尽力に敬意を表し、厚く御礼申し上げる。

しかし、これまでも繰り返し申し上げているように、気象災害は年々激化している。2018 年に被災した倉敷市真備町、今年被災した熱海市でも、被災された方々は皆、「私の町ではこのような災害は初めてだ」とおっしゃるが、今や日本中どこでもこのような大規模災害は起こり得る。すでに今年も台風が上陸しており、台風 8 号は勢力が弱かったが、最後は西にルートを変えて宮城県に上陸するという史上初めてのことが起きた。異常な現象が起きていることは明らかであり、是非後回しにせず各地域での備えを進めていただきたいと思う。環境省も引き続き積極的に支援させていただく。

今年度の協議会においては、例年の調査・セミナー・訓練等の他に中国ブロックの災

害廃棄物対策行動計画改定を予定している。この改定作業は昨年度取り纏めていただいた改定方針に基づいて作業を進めるが、本日はまず今年度の協議会の進め方について議論いただく。限られた時間ではあるが是非忌憚ないご意見をいただき、更なる備えの強化に繋げていただければと考えている。

(事務局 応用地質)

議事に入る前に配布資料の確認をさせていただく。

(資料確認・省略)

本協議会においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン会議システムを通じて参加していただいている。進行上トラブルが発生する可能性があるが、何卒ご理解、ご協力をお願いしたい。

(オンライン参加者へのお願い事項・省略)

それでは、議事に移る。ここからの進行は、座長にお願いする。

3 議 事

(座長)

それでは、議事の「(1) 令和3年度協議会の運営について」の「①協議会設置規程について」「②協議会及び幹事会について」の説明を事務局からお願いする。

(1) 令和3年度協議会の運営について

①協議会設置規程について

②協議会及び幹事会について

議事の「(1) 令和3年度協議会の運営について」の「①協議会設置規程について」「②協議会及び幹事会について」について、事務局より資料1・2の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 環境省)

(資料1・2説明・省略)

(座長)

事務局から説明をいただいた。これに対してご質問等があればお願いする。

資料2によれば、今年度は協議会と幹事会をそれぞれ2回開催することとなっているが、過年度の協議会と幹事会をふまえて開催回数を決めているのか。

(事務局 環境省)

過年度の協議会と幹事会をふまえて開催回数を決めているが、議事内容等に応じて

回数を変更する可能性もある。

(２) 令和３年度の協議会調査検討方針

議事の「(２) 令和３年度の協議会調査検討方針」について、事務局より資料３の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 応用地質)

(資料３説明・省略)

(座長)

事務局から説明をいただいた。これに対してご意見・ご質問等があればお願いします。

(広島県資源循環協会)

産業廃棄物処理施設の調査を行う際は、ぜひとも資源循環協会と調整していただきたい。中国ブロック５県の資源循環協会は、それぞれが所有している情報が多様であると思われる。なお、広島県資源循環協会は、今年度県内の施設について調査を行う予定である。各県の資源循環協会によっては既に把握している情報もあると思われるため、調査前に情報のすり合わせ等の事前調整をお願いしたい。

(事務局 環境省)

調査前に資源循環協会と連携させていただきたい。また、どのような調査をすると効果的に情報が収集できるか等も含めて、相談させていただきたい。

(米子市)

一般廃棄物処理施設の調査のうち、追加的な調査が必要な施設について、具体的な考えがあればお教えいただきたい。

(事務局 環境省)

一般廃棄物処理施設の調査は、昨年度各県を通じて実施させていただいたが、調査期間が短かったこともあり、回答を十分に得られなかった施設があった。今年度の調査は、そのような施設を含めて対象としたいと考えている。また、協議会等で対象施設に係るご意見があれば、調査に反映したいと考えている。

(座長)

昨年度の一般廃棄物処理施設の調査結果を十分に確認できていないところがあるため、協議会等で確認することも検討してはどうかと考えている。

（委員）

昨年度の一般廃棄物処理施設のアンケート調査では、分担率について得られた回答が少なかったため、引き続き調査を進めていくものと認識している。分担率は発災後に施設担当者と調整して検討していくものと考えており、事前の想定で決めることが難しいため、回答が少なかったのではないかとと思われる。しかしながら、災害廃棄物処理計画の作成や課題を抽出するためには、分担率などの処理可能量を推計する必要がある。そのため、被災した市町村を対象に調査を行い、受入量の実績を整理しておくことが重要と考えている。整理した実績データは、定格処理能力と処理実績との差の何割を受入れたか整理すると有用であると考えている。

（事務局 環境省）

事務局でも具体的な調査方法等を検討する。

広域的に廃棄物を受け入れる場合は、首長の判断が必要となる。協議会等で首長の判断がない中で、広域連携について検討していくことは難しいことだと思われるが、公表されている処理可能量や災害時の受入実績等を整理していくことは、広域連携を検討するにあたって重要なデータになると考えている。情報の取り扱いを含めて考えて行きたい。

（座長）

構成員には順番にご意見・ご質問をいただきたい。回答はまとめて事務局から行うこととする。

（鳥取県）

昨年度、訓練幹事県を務めさせていただき、Web 会議システムを活用した訓練を行った。図上訓練は想定通りに進まないところがあった。シナリオは進んでいくが、最後までなかなか伝わらないというところで問題があった。また、Web 会議システムに慣れた職員が少ないため、対応に苦労した。今年度は単純な訓練から実施してみてもどうかと考えている。

（鳥取市）

資料3の第2について、昨年度の一般廃棄物に関するアンケートは回答できない項目があった。また、昨年度の図上訓練については訓練幹事県が鳥取県ということもあり、鳥取県からの連絡により行動したが、訓練のボリュームが多く、次のステップに進まないことがあったため、訓練内容について見直した方が良くと考えている。

(米子市)

資料 3 の第 2 について、一般廃棄物処理焼却施設の運転にあたって処理実績は把握しているが、今後は日々の余力を考えながら運転することも必要ではないかと考えている。

(島根県)

令和 3 年 7 月の大雨で島根県、出雲市、松江市は被災しており、災害対応を行っているため、訓練幹事輪番制について配慮してほしい。

(松江市)

現在、令和 3 年 7 月の大雨による災害対応を行っている。昨年度は図上訓練に参加したが、実際に処理を行うとなると大変であると実感している。

(事務局 環境省)

広域処理を行うための調査では、調査内容や調査方法を精査して進めたいと考えている。図上訓練について、訓練内容の単純化等を検討しながら進めていきたい。訓練幹事県についても、今後相談させていただきたい。

(岡山県)

岡山県では一般廃棄物処理施設と産業廃棄物処理施設の調査を予定しているため、調査内容が重複しないよう調整してほしい。産業廃棄物処理施設の調査内容は検討中だと思われるが、アンケートは資源循環協会から依頼することになるのか。

(事務局 環境省)

岡山県と調査内容が重複しないよう調整したいと考えている。産業廃棄物処理施設の具体的な調査内容や調査方法は資源循環協会等関係団体と相談して決めさせていただきたい。

(倉敷市)

倉敷市は人材育成や広域処理の前段階として、ボランティア団体や資源循環協会等との連携をふまえた初動対応マニュアルを策定し、マニュアルを用いた訓練を予定している。協議会の検討結果も参考にして、今後の方針を検討したいと考えている。

(広島県)

産業廃棄物処理施設の調査について、産業廃棄物と一般廃棄物とで担当課が異なるため、県が調査を依頼する場合、早めに連絡がほしい。

図上訓練について、資料中に 2 回という記載と 2 日という記載があるため、2 日の訓練を 2 回行うことになるのか。

（広島市）

広島市は平成 26 年と平成 30 年に被災しており、災害廃棄物処理の実績がある。その際に処理困難物の処理が特に苦勞した。処理困難物の処理は産業廃棄物処理施設に頼らざるを得ないため、ソーラーパネル、アスベスト等の具体例を上げて受入可否のアンケートをしていただけると、有用なデータになると考えられる。

（福山市）

福山市では災害廃棄物の仮置場への排出方法に係る市民啓発について検討しているため、取組事例があれば情報を共有してほしい。また、資料 3 に示されている調査は今年度に全て実施することで良いか。

（呉市）

今年度から廃棄物部局に異動してきており、Web 会議システムでの図上訓練のイメージができていない。図上訓練は初任者でも対応できるよう、わかりやすい内容にしてほしい。

（下関市）

産業廃棄物処理施設に対する調査について、収集運搬のための車両台数とそれに係る人員の調査も想定していることでよい。昨年度の図上訓練では、連絡や情報共有に戸惑ったため、今年度は情報共有等の連絡の遅れが生じないよう体制を整えて参加したいと考えている。

（山口市）

山口市は今年度はじめて災害廃棄物処理に係る研修会を実施した。災害廃棄物処理は市内の様々な部局と連携する必要があるが、危機意識の共有が難しいと感じた。他自治体の人材育成の事例も参考にしたいので、調査結果の情報共有をしていただきたい。

（岡山市）

近年は大雨の頻度が増加しており、いつ災害が発生するかわからない状況である。協議会で調査・検討した結果については、岡山市内でも共有を図っていきたい。また、人事異動により配属された初任者について、気軽に相談できる窓口等があれば、日頃から協議や相談ができるため助かると考えている。

(山口県)

山口県では 1 町を除き災害廃棄物処理計画が策定済みであり、今後改定を行っていくこととなるため、モデル業務の検証に向けた調査より、計画改定に係る情報を共有していただきたい。

(事務局 環境省)

今年度の本協議会の図上訓練は 2 日の訓練を 1 回実施することを予定している。また、資料 3 に示されている調査は今年度中に全て実施することを考えているため、ご協力を御願いたい。産業廃棄物処理施設に係る調査について、収集運搬のための資機材等の調査も想定している。また、広域処理に係る調査結果の共有や県との早めの調整、具体的な項目を上げてのアンケート等のご意見をふまえて調査内容の検討を進めたいと考えている。図上訓練については、Web 会議システムを活用するにあたって、実施手順を共有しながら進めたいと考えている。人材育成や災害廃棄物処理計画の改定に係る情報に関しては、中国ブロック内で参考とできるよう調査結果を共有したいと考えている。

4 報告事項

環境省からの報告

報告事項の「環境省からの報告」について、事務局より資料 4 の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 環境省)

(資料 4 説明・省略)

(島根県)

本県は今年度の災害廃棄物処理対策研修モデル事業に採択されて実施する予定であるが、今後の環境省との打合せ等はいつ頃に行われるか教えてほしい。

(事務局 環境省)

災害廃棄物処理対策研修モデル事業の具体的な進め方等については、後日連絡させていただきたい。

5 その他

今後の予定について

その他の「今後の予定について」について、事務局より資料 2 の「令和 3 年度の協議会等のスケジュール（予定）」の説明が行われた。

(事務局 応用地質)

(資料 2 説明・省略)

6 閉会

(事務局 応用地質)

以上，第 16 回災害廃棄物対策中国ブロック協議会を閉会する。

本日は長時間どうもありがとうございました。

以上